



## 新任職員…インタビュー



新任の方のインタビューを掲載しました。  
これからも宜しく願います。

### 愛の聖母園に入職して

児童指導員 日高 清佳

愛の聖母園に入職して半年が過ぎました。振り返るとあっといふ間の半年だったように感じます。初めて子どもたちと会う前は受け入れてもらえるのか不安でしたが、会ってみると子どもたちから沢山話しかけてくれて嬉しかったことを今でも覚えています。帰ってきた後に学校での出来事を話してくれたり、休日に自分で書いていたり作ったものを見せてくれたりなど沢山のことを教えてくれます。半年の時間を過ごすなかで、徐々に距離が縮まっているように思います。また、私が困っている時には「大丈夫?」と、気にかけてくれる優しい子どもたちにも助けてもらっています。生活を一緒にするなかで、子どもたちの持っているパワーに圧倒される時もあり、目まぐるしい日々を過ごしています。しかしながら、日常の出来事と一緒に遊んだり行事に参加したりお祝いをしたりなど多くの思い出をつくることができ、充実した毎日を過ごすことができます。

業務にも少しずつ慣れてきたように感じ

ますが、まだまだ分からないことも多く、先輩職員の方々に多くのことを教えていただいたり相談させていただいています。子どもたちとの関わり方や声掛けなど、さまざまなことを勉強させていただいております。私は子どもたちと生活を共にしながら関わってみたいという思いがあり、入職を決めました。子どもたちの成長を間近で見ることができると喜びを感じます。今後、沢山の思い出をつくり、子どもたちに信頼してもらえ、職員になれるよう日々の関わりを大切にしていきたいです。先輩方から学んだことを活かし、自分自身も子どもたちと共に成長できるよう励んでまいります。

### 半年経って

児童指導員 西村 知奈

愛の聖母園の児童指導員として子どもたちと生活を共にするようになって、半年が経ちました。初めの頃は職員としての業務を覚えることで精一杯で、振り返ってみるとあまり余裕がなかったかもしれません。「疲れた顔してるね」と子どもから言われたこともあります。

子どもたちとのコミュニケーションは本当に楽しく、学校での出来事や友人のことなどを沢山話してくれます。その中でも特

に嬉しかったのは「知奈ちゃんがこのホームにに来てくれて良かった」と言われたことです。就寝前だったので言った本人は覚えていないかもしれませんが、私は忘れることにはないでしょう。素直で素敵な子どもたちの人生に関わることができて幸せだと改めて感じました。

先輩方からは、子どもとの関わり方は勿論、言葉遣いや表現など多くのことを勉強させていただいております。先輩自身の経験を交えながら指導してくださるので、自分がその立場になった際に指導内容と結びつけながら対応することができました。

私が困っているとすぐに気付いてくれる、しょうがないなあと言いつつも手を差し伸べてくれる、そんな心の優しい子どもたちに囲まれて日々を過ごしています。社会人として、児童指導員としてまだまだ未熟ではありますが、この先子どもたちがより笑顔で人生を歩んでいけるよう、全力で支援していきたいと思っています。子どもたちが日々成長しているように、私自身も様々な事を吸収しながら成長したいと思っています。

